

3 研究のまとめ

(1) 成果

高等学校における人権学習において、生徒の興味・関心のある人権課題を基にすることが、人権課題を自分の問題として捉え、自分の生き方について考えをもことにつながり、それにより生徒が主体的に考える授業実践ができたのではないかと思います。

感想を見ると、『刑を終えて出所した人の人権』について考える事ができた、理解が深まった」などの肯定的な感想がほとんどでした。また、それらから自分のこれまでの反省やこれからの行動につながる感想もありました。また、「話合いの活動の中で、他の生徒の話が聞けて良かった」という意見もあり、対話的な活動による主体的な人権学習への参加が伺われました。

(2) 課題

今回のテーマが実践例の少ないものであったので、その為の教材の準備に時間が掛かってしまいました。佐賀県教育委員会が出している「佐賀県人権・同和教育資料集」などからの教材の充実や、教育センターから、あらゆる人権テーマにのっとった教材などの発信が必要だと考えます。様々な人権課題をテーマにした教材の開発、提供をしっかりと行うことで、実際にアンケートを行って、授業を实践しようとする先生方が、より安心して行うことができるようになり、それが人権教育の広がり

に寄与することになると考えます。